

2023

# レース結果報告書

全日本選手権 第8戦 鈴鹿大会



# レース結果

## Race

全日本選手権の最終戦・鈴鹿大会は今シーズンのこれまでのレースで15位以内に入ったポイント獲得者しか参加できない頂上決戦の場です。年間を通して戦った合計ポイントで年間チャンピオンが決まるカテゴリーも多く、各クラスで見応えのあるレースが展開されます。豊島怜は現在ランキング7位。後半戦は6位-5位と上り調子で迎えた最終戦です。

JP250のアクスタイヨウは鈴鹿サーキットも初コースですが、今回はスケジュールの関係で、事前テストや、スポーツ走行といった練習予定が全くない状況でレースウィークを迎える事となりました。国内一のロングコース(5.8km)で、最もテクニカルなコースとされる鈴鹿の攻略を短期間で仕上げて戦わなければならない、ライダーのポテンシャルが試される最終戦となりました。今年1年の集大成となる最終戦を戦った二人のレース結果をご報告いたします。

**名トンベイ** : 全日本選手権 第8戦 鈴鹿サーキット大会

**開催日** : 2023年10月14-15日

**レース結果** : ST1000 #13 豊島 怜 予選 10位 決勝 4位  
JP250 #61 アクスタイヨウ 予選 18位(9位) 決勝 11位(5位)

**WEBリザルト** : <https://www.jrr.jp/result2023/result-rd8-suzuka>

**YouTube動画(ST1000)** : <https://www.youtube.com/watch?v=MQ85L8Eg-CE>  
(ST1000決勝は2時20分からスタート)

**YouTube動画(JP250)** : <https://www.youtube.com/watch?v=64TbQLF-ctk>  
(JP250決勝は6時40分からスタート)

**動画再生回数**: 28万回(土日合計)





# レース報告・豊島怜 ST1000・#13

## Race

### 豊島怜コメント

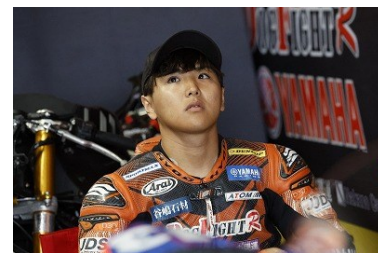
鈴鹿8耐を経験したお陰で、1本目からハイペースで走行することができました。しかし木曜、金曜のフリー走行で調子は良かったもののデグナー1個目の縁石にステップをヒットさせての転倒や、ダンロップコーナーでハイサイドを喰らってしまい、耐えたのですがコースアウトしてしまい、壁が近かったのでバイクから飛び降りました。こちらも怪我は無かったのですが、チームの皆様迷惑をかけてしまいました。

予選は開始1周目で8秒台に入れる事ができ2周目のアタックで全てのセクターで自己ベストを更新している中、赤旗が提示されてしまい一時中断。そこでアタックが終わってしまいました。結果は10番手で4列目からのスタートとなりました。

決勝は4列目からスタートを決め、1周目を9番手で通過しました。しかし2周目に入ったところ、1コーナーに向かって強風が吹いていた為、1コーナーで思ったよりもブレーキが止まらずコースアウトをしてしまいました。コースアウトした先の舗装路がウェットコンディションだった為、復帰に少し時間がかかってしまいセカンド集団の先頭になり、抜け出してから単独でのレースとなりました。一定のペースをキープしながら集中して走り、最終ラップの最終コーナーで転倒復帰していたライダーをギリギリで抜いて4位でチェッカーを受けました。

今シーズンの集大成として臨んだ最終戦では悔しさもありますが、まずは今季ベストリザルトとなる4位を獲得することができました。直近の3レースでは6位→5位→4位と3連続で入賞することができて、シリーズランキングで7位を獲得することができました。ランキング6位まで3ポイント差、5位と6ポイント差の激戦でした。去年は成長しながらもDNFが多く結果に結びつけられませんでした。今年には更にタイムアップを計りながら全戦完走の目標をクリアしてシーズンをまとめることができました。

これも日頃から支えてくださる皆様のおかげです。まだまだ発展途上なのでこれからも成長していけるように精進します。スポンサーの皆様、チーム関係者の皆様、誠に有難うございました。



# レース報告・アクスタイヨウ JP250・#61

## Race

### アクスタイヨウ コメント

鈴鹿サーキットに行くのは初めてでした。子供の頃にここでのレースをテレビで見っていたのを覚えています。まさか鈴鹿でレースをする機会があるとは思っていませんでした。このような素晴らしいサーキットでレースができてとても光栄でした。

事前テストが出来ない状態でスタートしたため初日は少し不安もありましたが1本目の走行でライバル勢について走ることが出来て、まずまずのペースで走ることが出来ました。サーキットを理解することができたし、競争力を発揮するために何をしなければならないのかも判りました。

自信を持って2日目に臨むことが出来ました。残念ながら午前中の走行で高速コーナー（130R）で転倒してしまいバイクを大きく壊してしまいました。幸いなことに怪我はありませんでした。バイクはダメージを受けましたがメカニック達が短時間で素晴らしい仕事をしてくれて予選に向けマシンを修復してくれました。

しかし予選を走りだすと転倒によるダメージが残っていて、ギヤトラブルにより思うようにアタックできず総合18位に沈んでしまいました。午後までの決勝にむけて時間が無い中でチームはエンジン交換やその他の微調整を行って決勝に送り出してくれました。

レースはとても難しかったですが、1周目で順位を上げて5位争いに加わることができて、レース中には予選よりも2秒以上ペースアップする事が出来ました。8周と短い周回の中で何度も前に出ましたが集団を抜け出すことが出来ず残念ながら集団の中でチェッカーを受けて総合11位で最終戦を終える事となりました。

サポーター、スポンサー、チームの皆様、応援ありがとうございました。



# チーム代表コメント

Race

最後まで粘り強い走りを見せた豊島怜が最終ラップに4位に浮上してチェッカー♪  
今季ベストリザルトでシーズンを終える事が出来ました。ランキングも7位で赤ゼッケンを獲得。まだまだ上位とは差があり、決して手放しで喜べるものではありませんが、今シーズンは全てのコースで自己ベストタイムを更新し、全レースを完走と掲げた目標をクリア。確実な成長を感じさせるシーズンでした。  
ここからまたステップバイステップ。1歩ずつ山の頂を目指して精進して参ります。

アクスタイヨウ選手のラストレースはクラス5位(総合11位)でフィニッシュ  
16歳のアクスタイヨウ選手はオーストラリア在住で、単身日本に来て下宿生活しながらJP250にフル参戦しました。  
16歳とはいえ体の大きいアクス選手にとってJP250はハンデのある戦いです。しかも日本のサーキットは全て初体験という中で常にトップ10内で上位争いに加わる走りは適応能力の高さとガッツを感じさせてくれました。

今シーズンも沢山の応援ありがとうございました。

チーム代表 室井秀明

# スポンサー



1年間のご支援・ご協力誠に有難うございました。

